

目からウロコの英語の作法

～ 紋切り型のテキスト英語から相手にやさしい英語へ～

日本実用英語サービス



次の日本語を声を出して読み比べてみてください。

1. 「どこに行きたいの？」
「どちらへ行かれますか？」
2. 「先に食事する？」
「先に食事になさいますか？」

1も2も質問の内容は同じです。1、2ともに1つめの文はフランクで、気心の知れた仲間内ならいいですね。でも相手が見ず知らずの人や目上の人に対してだったらどうでしょう。ちょっといただけませんよね。そういう場合、例えば後者のような言い方をみなさんはしているのではないでしょうか。

日本語で人と話すときやメールを書くとき、どのような言葉づかいをしていますか。親しい友人ならともかく、上司やまだそれ程親しくない人に、あなたがある程度の常識や礼儀を備えた人ならば、紋切り型ではなく、もっと柔らかい表現をつかいますよね。

これは英米人だって同じです。英語には敬語こそありませんが、柔らかい、相手にやさしい、丁寧な言い方があり、彼らはこれを柔軟に使い分けています。

「単語を覚えるだけで精一杯なのに / 旅行英語がやっとなのにとでもそこまでは」という声が聞こえてきそうですね。でも、相手にやさしい英語を話すのに、新しい単語やイデオムを覚える必要は全くありませ

ん。既に知っている英語だけで十分です。そう、つまり知っている英語の使い方のヒントを知るだけでOKなのです。

「そうなんだ」と知るだけであなたの表現力は何倍も向上します。これから詳しくご説明します。

英語には敬語がないと言われていました。では英米人は気心の知れた仲間も、目上の人も、どんな状況でも、いつでもどこでも同じ感覚で話をしているのかというと、どっこいそうではありません。

A .Where did you want to go?

B .Did you wish to take a meal now?

AとBの英語をあなたはどうか訳しますか？ Aは「どこに行きたかったんですか？」と訳した人もいます。それも確かに正解です。ではBはどうでしょう。「食事にしたかったんですか？」と言いたいところだけれど'now'が訳せませんね。

a .Where do you want to go?

b .Do you wish to take a meal now?

勘のいい人はもうおわかりですね。Aはaの、Bはbの丁寧な言い方なのです。それぞれ

a .「どちらへ行かたいのですか？」とか

「どちらへお越しにならたいのでしょうか」

- b. 「先に食事になさいますか？」とか
「先にお召し上がりになられますか」

となります。「過去形を使うと丁寧な言い方になるの？」そうなのです。「進行形」や「未来形」でも同様のことが言えます。日本語でも現在形を使うと紋切り型になり、メールでもそういう表現は嫌われますよね。断定的な言い方になりがちな現在形を避け、過去形や進行形を使って表現を和らげ、コミュニケーション、ひいては相手との人間関係をスムーズにするというやり方は、日本語や英語に限らず世界中の多くの言語において共通しているようです。

みなさんは学校で過去形は過去のこと、未来形は未来のことを言う時に使うのだと習ったのではないのでしょうか。でもそうとは限らないのです。英米人は現在のことを言うのに過去形や進行形や未来形をたくさん用います。"Where did you want to go?"という表現だって、文脈によっては確かに過去のことを言っていることもあります。文脈によっては現在のことを言っていることもあるのです。こういうことを知らなければ映画を見ても「チンプンカンプン」とまでは言いませんが人情の機微や細かい描写を正しく味わうことは出来ないかもしれませんね。

「過去形」や「未来形」以外にも、「条件法」「命令文」「受動態」「人称代名詞」「間接疑問文」そして、「相手の意思を問う」「クッションを置く」等々、相手にやさしい、相手が受け入れやすい丁寧さを出す様々な方法を英米人は身につけ、使いこなしています。

海外旅行をする程度なら必要のないこうした知識も、向こうで生活をしたり仕事をしたりとそれなりの社会生活を送ろうとすると不可欠です。映画を見たり、小説を読む時にも必要な知識です。普通の英会話ブックにはこんなことは書かれていません。だから、これらの本の英語を丸暗記しただけでは身につかないのです。「向こうから見れば外人だからいい」本当にそれでいいですか？

これらの知識を身につけるには、冒頭にも書いたように文や単語、イデオムの暗記は必要ありません。「そうなんだ」と知り、理解することが何より重要です。理解してしまえばもう簡単、自在に使いこなせるようになります。この1冊がこの問題を解決してくれます。しかもたったの1,995 円。わずかな投資です。是非、みなさんの英語表現力アップのために投資してください。中・上級者なら読めば身につく。初級者にもわかりやすい！

『丁寧英語入門』¥1,995(A5 版 180 頁)

藤井 健三 編著(中央大学名誉教授)

最終ページに本書の目次を紹介しています。

次のホームページでは本書の紹介をしています。

<http://2way.jp/JES/teinei-j.html>

本書のご注文は次のホームページからお願いします。

<http://2way.jp/JES/order-j.html>

書店ではお求めになれません。

書名の中にある「丁寧」性を学ぶというのは、要するにどんな場合にどんなことばを使うのが適切であるかを学習するということです。

丁寧英語について少し話していきましょう。

丁寧英語とは

英語の‘polite’ (丁寧な) の語源はラテン語の‘polit-us’です。これは‘to smooth’ (滑らかにする、障害・困難などを取り除く) の意味です。‘polish’ (こすり磨く) も同根の語ですが、これも表面を滑らかにするという意味です。

そうしますと polite English (丁寧英語) とは「人にすんなりと受け入れられる英語」ということになります。つまり他人の気持ちに対して気配りしたことばということです。

どんな場合に必要なのか

では、すんなりと受け入れられないのはどんな場合でしょうか。それは他人の気持ちに対するなんらの気配りもなく、負担になることを一方的に押しついたり、忠告したり、悪い知らせを通告したり、私的问题に立ち入った問いかけをするような場合です。そうした場合、人は「めんつ」(face) をつぶされたと感じ不快を覚えます。

相手を不快にし不機嫌にしたのでは、話し手は自分の目的を達することができません。そこで、話し手は相手の不快をできるだけ小さくする工夫(device)しなければなりません。その工夫がなされた表現を丁寧英語というのです。

礼儀正しい英語とは

「丁寧な」とか「礼儀正しい」を英語では‘courteous’ともいいます。

す。これは「言い寄る、求婚する、機嫌をとる」などの意の名詞あるいは動詞‘court’からきた形容詞です。‘court’の定義を辞書(LDAE)で見ますと、‘to pay attention to an important or influential person in order to gain favor, advantage, approval, etc.’(恩恵・利益・承認などを得んがために、重要な人や影響力のある人に対して気配りをする)とあります。

受け入れてもらうための戦略

このように、英語ではことばを「丁寧に」するのも「礼儀正しく」するのも、それは話し手が自分の意図することを相手に受け入れてもらうための戦略(strategy)と考えられている節があります。その点日本語の敬語の観念とやや性格を異にします。

日本語の敬語の観念は根底的には相手に対する恐怖に基づいています。とても太刀打ちできる相手ではないと臆し敬遠の態度をとることによって敬意を表わすのです。「恐れいります」が、お礼ことばとしてもお詫びことばとしても使えるのはそのためです。これは「有難う」とも「悪かった」とも具体的なことは何も言わず、ただ相手をはるか上位に置き自分を下位に置いてへりくだる態度を示すだけのことばです。話し手の希望は相手の思し召しにすぎるといふ卑屈で消極的な姿勢です。

不快を避けるだけではない

先に指摘しましたように、丁寧英語とは他人の気持ちに気配りをした英語表現のことです。他人の気持ちに対して気配りが必要なのは、言いにくいことを言うときだけではなく、相手が喜んだり悲しんだ

りしているときも、その気持ちに対する気配りが必要です。人はだれでも喜びや悲しみを分かち合ってくれる人が必要だからです。

したがって英語圏社会では他人からの祝意や弔慰、慰めや励ましが欲しいときに、その気持ちを察して駆け寄りことばをかけるのは丁寧な態度であり、そこから出たことばは丁寧表現と考えられているのです。

お世辞を言うのも丁寧な態度です

英語圏社会ではお世辞を言うのも丁寧な態度として歓迎されます。人に受け入れてもらうためには人は常に他人に対して失礼にならないように心がけなければなりません。

したがって英米人は日常の出会いの挨拶においても単に「おはよう」「こんにちは」だけでなく、ちょっとした褒めことばをよく添えます。「巧言令色すくなし仁」と考える東洋的思想の影響を受けている日本社会ではお世辞の習慣は発達しません。

したがって英米ではお世辞を言われると、‘Thank you for the compliment.’(お世辞をありがとう)あるいは‘I feel very flattered by your compliment.’(あなたの世辞はとても嬉しいです)と、お礼をいいます。本心であろうとなかろうと、そのちょっとした褒め言葉によって気分が明るくなるからです。ですから、久しくお世辞を言ってもらえなかった人は、‘I’m fishing for a compliment,’(わたしお世辞が欲しの)といって褒め言葉を求める気分にもなるのです。

日英の敬語概念のちがい

上に指摘しましたように、英語圏社会では相手の「不快」をできるだけ小さくする気配りだけでなく、相手を「いい気持ち」にするためのことばも丁寧表現あるいは敬語表現と考えるのです。したがってその中には挨拶やお世辞の表現一切が含まれることになります。

日本語にはそのような考え方はありません。日本語における「敬語」というのは、たとえば「粗末なものです何とぞご笑納ください」の粗末なもの 笑納 ご ください のような語としての一定の形があるものを言います。

英語には日本語のこれらの語に対応する単語はありません。したがって日本語の観念からいえば英語には敬語はないことになります。ところが英語には単語のレベルにおいてこそ敬語はありませんが、表現全体としては日本語にまさるとも劣らない敬語表現があるのです。たとえば上の挨拶ことばでしたら次のように言います。

You will honor me if you will accept this small present.

直訳すれば「このささやかな贈り物を受け取っていただけるなら、あなたはわたしに光栄な思いをさせてくださることになるでしょう」です。つまり相手が品物を受け取ってくれるならそれは私にとって名誉なことだというのですから、これは相手を最高に持ち上げた言い方です。その敬意性の高さは日本語の敬語表現の比ではないかもしれません。

事柄と人間関係によって異なります

「すんなりと受け入れられることば」が丁寧表現あるいは敬語表現だと言いました。しかし、どんな表現がすんなりと受け入れられるかは実際には事柄、人間関係、状況によって違ってきます。丁寧なことば使いがかえって慇懃無礼になったり、素っ気ない言い方だからこそ丁寧性が気持ちよく伝わることもあります。たとえば、

Would it be a terrible imposition if I asked you to wash the dishes?

(お皿洗いをあなたにお願いしたらすごく押しつけがましいことになるでしょうか)

は、人間関係と状況によっては大変な嫌みになります。また、

Make yourself at home here.

(ここで遠慮は要りません)

Don't hesitate to ask if you want any.

(欲しいものがあつたら遠慮なく言いなさい)

は、形式は押しつけを表わす命令文ですが、丁寧性はこれでもっとも適切に伝わります。

適切なことば使いを学ぶ

言語の丁寧性を学ぶというのは、要するにどんな場合にどんなことばを使うのが適切であるかを学習するということです。それには、事柄、人間関係、状況、表現形式、文化などが絡みます。したがって、わたしたちはこれから、その絡みのありようを観察し理解していかなけれ

ばならないのです。適切なことば使いを学ぶこと、これは言語学習の根本的命題なのです。

最後に、1977年にハーバード大学言語学教授の久野氏が英語にも広い意味での敬語法があることを指摘された論文「英語圏における敬語」(岩波講座『日本語 4』に所収)の結びで述べられた、日本の英語教育界に対する重大な指摘をご紹介します。

「日本語のように敬語意識が発達している国の英語教育が、英語の敬語法に関してほとんど何も教えようとしないのは、不思議である。英語の敬語表現の研究は、日本の英語教育のレベルの向上にも、欠かすことができないものと思われる」

書籍のご紹介

『丁寧英語入門』¥1,995(A5版 180頁)
藤井 健三 編著(中央大学名誉教授)

中・上級者なら読めば身につく。初級者にもわかりやすい!

本文の末尾に本書の目次を紹介しています。

次のホームページでは本書の紹介をしています。

<http://2way.jp/JES/teinei-j.html>

本書のご注文は次のホームページからお願いします。

<http://2way.jp/JES/order-j.html>

書店ではお求めになれません。

閑話休題

(クイズのページです)

次のクイズに、あなたはいくつ答えられますか？

問 1 「先日はどうもありがとう」と言わない英米人は失礼？

問 2 次の英訳は正しい？

「この次に頑張ればいいじゃない」

‘You only have to try your best next time.’

問 3 ホームパーティで奥さんが夫のボスに

‘Thank you very much for many kindnesses to my husband.’

(いつも主人が大変お世話になっています)と挨拶をしたらボスが
げげんな顔を。なぜ？

問 4 ‘This is my son Kenji. He is a college student.’

親が息子を紹介するシーンですが、どこが礼儀にかなっていない
のでしょうか？

問 5 ‘Have another sandwich.’と

‘Would you mind having another sandwich?’

差し出されたサンドイッチを一切れ口にしただけで、あとは遠慮して
手を出そうとしない相手に対して勧めることばとしてどちらが適切だ
と思いますか？

答えは次のホームページで

<http://2way.jp/JES/books-j.html>

会 社 案 内

商 号
有限会社 日本実用英語サービス
資本金 3,000,000 円
創 業 1999 年 1 月
設 立 1999 年 4 月
決算月 3 月

本 社
東京都多摩市一ノ宮 4 丁目 40 番地の 3 号の 502
TEL 042(372)6820 FAX 042(372)6820
E-mail: jes@2way.jp
HomePage: <http://2way.jp/JES/>

取引銀行
東京三菱銀行 多摩支店 (普) 1322351

郵便振替口座
00170-6-131631

発行責任者
藤井 宣利

『丁寧英語入門』の目次紹介

第一部

相手の不快をできるだけ小さくする気配り

- 1 負担を軽くすることの丁寧性 10
 - 2 仮定法の丁寧性 13
 - 3 過去形の丁寧性(1) 16
 - 4 過去形の丁寧性(2) 20
 - 5 未来形と丁寧性 24
 - 6 進行形と丁寧性 27
 - 7 好み・関心として述べることの丁寧性 31
 - 8 条件法で述べることの丁寧性 36
 - 9 意志を問うことの丁寧性 39
 - 10 許可を求めることの丁寧性 44
 - 11 命令文と丁寧性 49
 - 12 受動態と丁寧性 53
 - 13 人称代名詞と丁寧性 56
 - 14 間接的疑問文の丁寧性 60
 - 15 間接的指示文の丁寧性 64
 - 16 直接的表現の丁寧性 67
 - 17 部分否定の丁寧性 70
 - 18 主観的叙述と丁寧性 73
 - 19 クッションを置く丁寧性(1) 79
 - 20 クッションを置く丁寧性(2) 83
 - 21 言い訳をすることの丁寧性 91
 - 22 詫びることの丁寧性(1) 94
 - 23 詫びることの丁寧性(2) 99
 - 24 和らげ語と丁寧性 103
 - 25 間接的不同意の丁寧性 107
- 第一部のおわりに 110

第二部

相手を積極的にいい気持ちにする気配り

- 26 愛想をよくすることの丁寧性 112
 - 27 寛容であることの丁寧性 117
 - 28 お礼を言うことの丁寧性 122
 - 29 喜びを表すことの丁寧性 131
 - 30 褒めることの丁寧性 134
 - 31 同情する・慰める・励ますことの丁寧性 138
 - 32 お祝いを言うことの丁寧性 143
 - 33 お悔やみを言うことの丁寧性 146
 - 34 同意することの丁寧性 151
 - 35 mustの丁寧性 153
 - 36 kind(ly)の丁寧性 156
- 第二部のおわりに 160

第三部

事柄の丁寧性についての補遺

- 37 丁寧性と談話戦略(1) 162
助言・忠告を与える場合
立ち入ったことを聞く場合
- 38 丁寧性と談話戦略(2) 168
断り状を書く場合
- 39 サービスの丁寧性 170
- 40 丁寧なことばと失礼な内容 174